

ブラジル・メキシコ・アルゼンチン 経済・金融概況 (2025年10月)

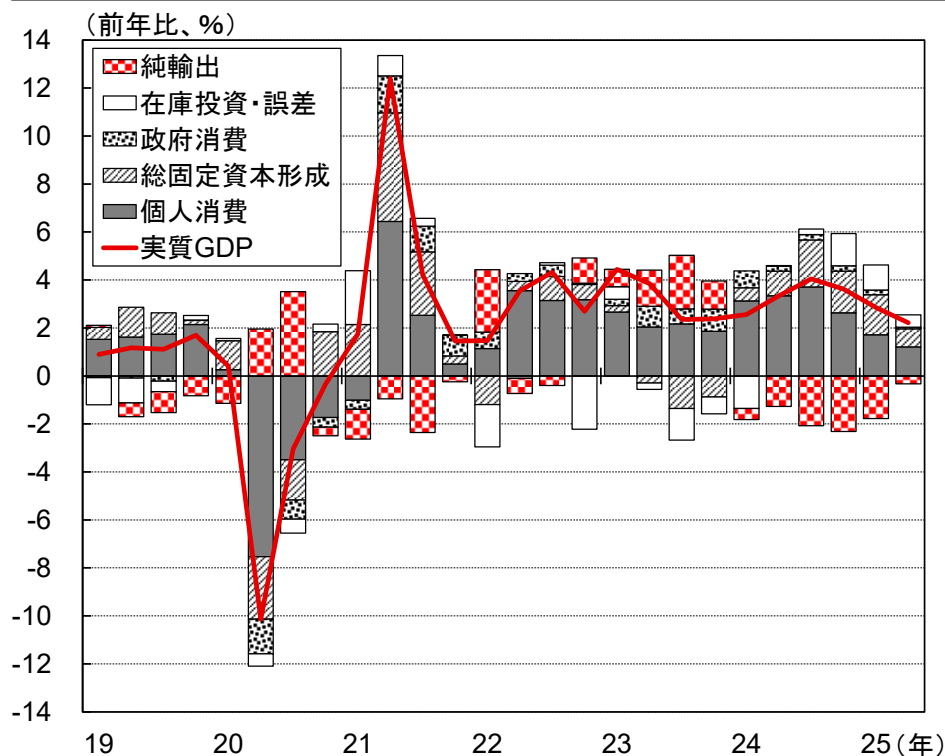
2025年10月22日

三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室

1. ブラジル (1) 景気概況

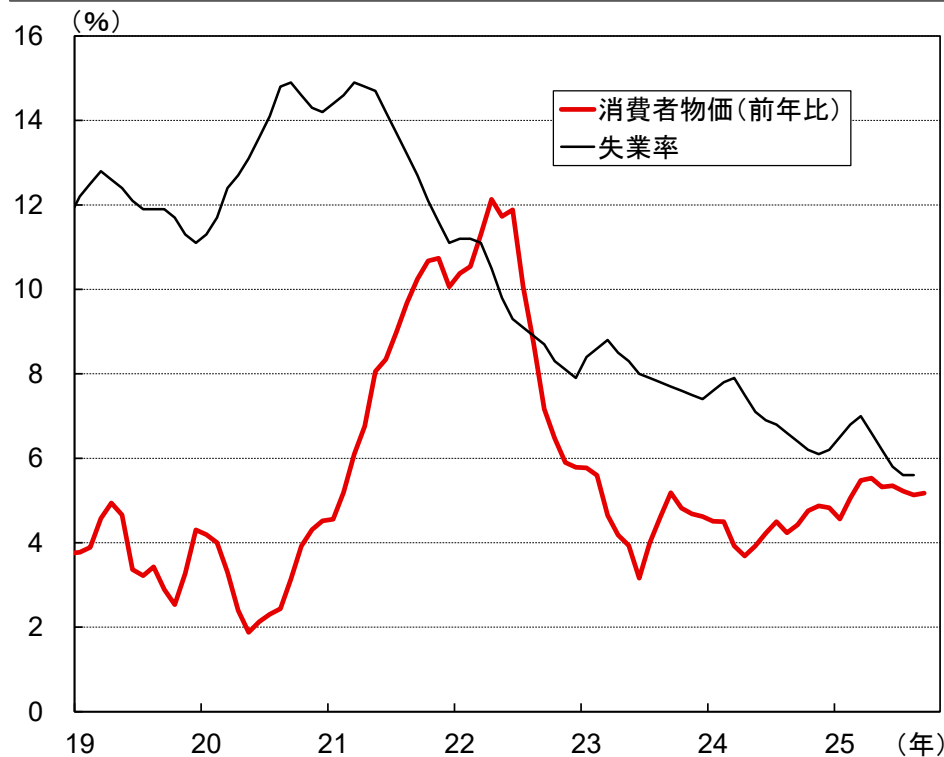
- 4-6月期の実質GDP成長率は前年比+2.2%と、前期(同+2.9%)から減速。需要項目別の寄与度では、純輸出(同▲0.3%ポイント)のマイナス幅が縮小した一方、個人消費(同+1.2%ポイント)、総固定資本形成(同+0.8%ポイント)、政府消費(同+0.1%ポイント)のプラス幅が縮小した。
- 8月の失業率(未季節調整値)は5.6%。2021年をピークに低下基調が継続。
- 9月の消費者物価上昇率は前年比+5.2%と、昨年10月以降、ブラジル中央銀行の定めるインフレ目標(前年比+3%±1.5%)を上回る推移を続けているものの、今年4月以降緩やかに低下。

実質GDP成長率の推移



(資料)ブラジル地理統計院統計より国際通貨研究所作成

消費者物価上昇率と失業率の推移

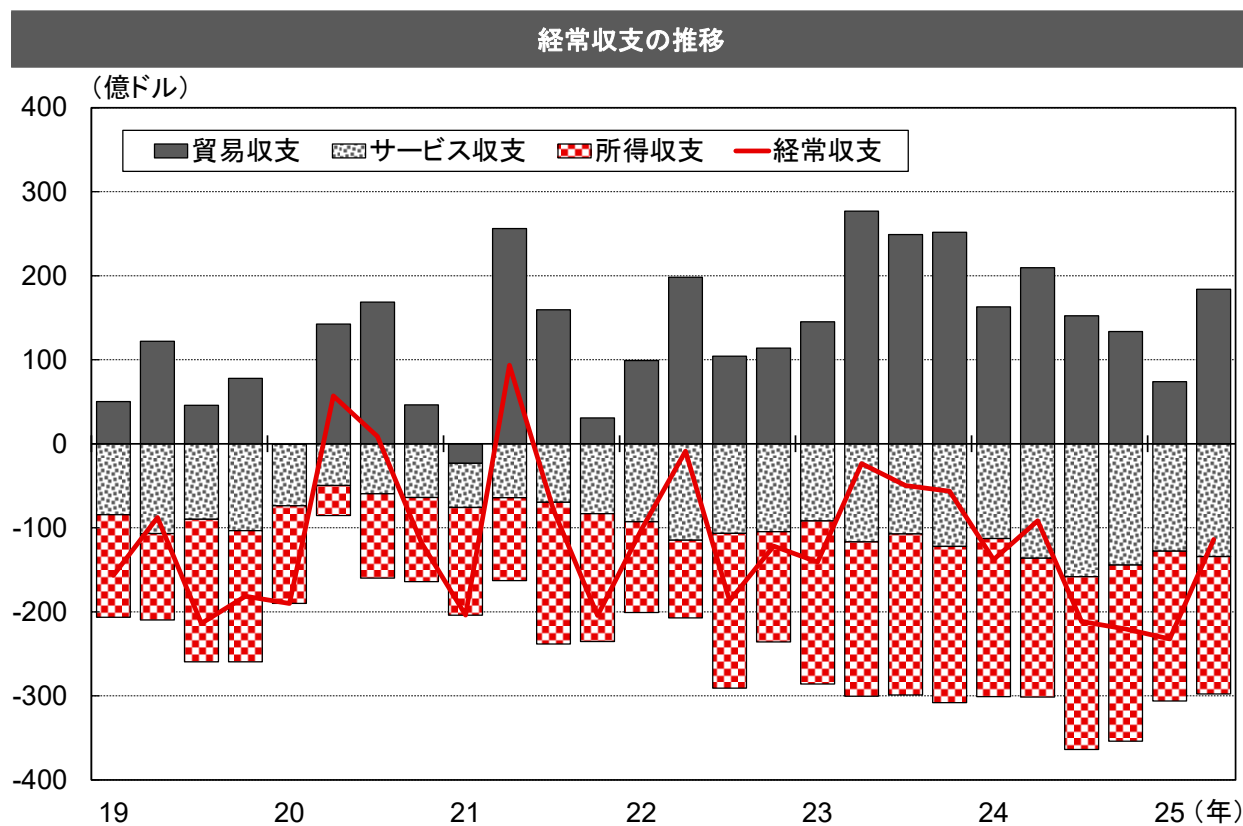


(注)失業率は未季節調整値。

(資料)ブラジル地理統計院統計より国際通貨研究所作成

1. ブラジル (2) 経常収支

- 4-6月期の経常収支は▲114億ドルと、前年同期の▲92億ドルから赤字幅が小幅に拡大。
- 貿易収支が+184億ドル(前年同期: +210億ドル)と黒字が縮小したことが主因。サービス収支は▲134億ドル(同▲136億ドル)、所得収支は▲163億ドル(同▲165億ドル)とほぼ横這いで推移。



(資料)ブラジル中央銀行統計より国際通貨研究所作成

1. ブラジル (3) 金融市場

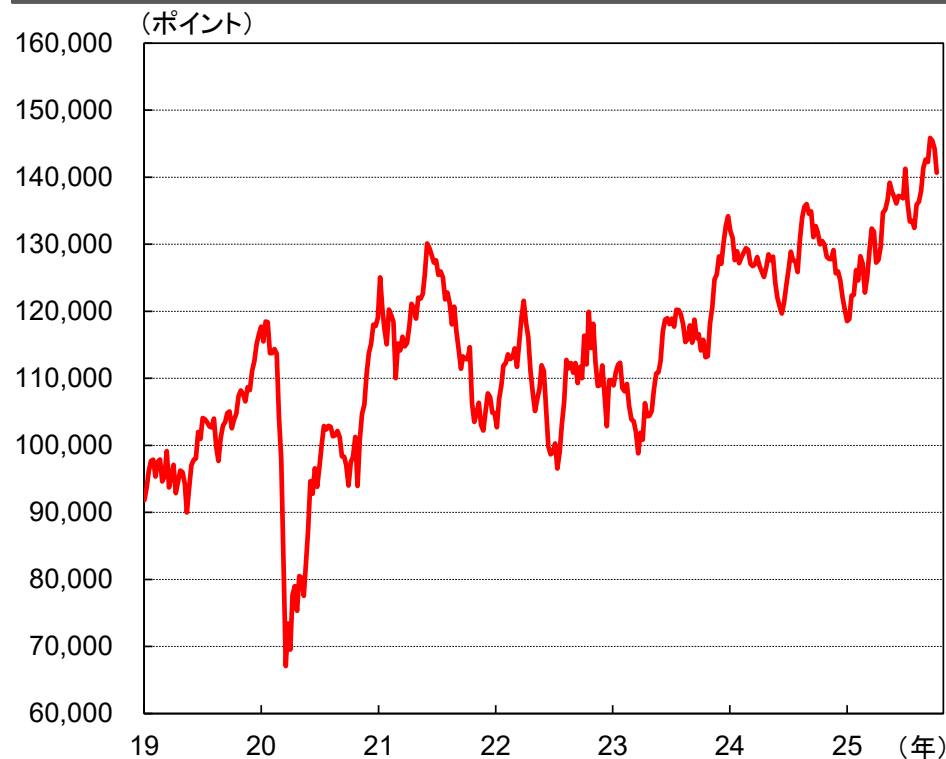
- ブラジル中央銀行は9月の金融政策委員会において、政策金利を15.0%に据え置くことを決定。国内景気の減速が進む一方、労働市場は堅調であり、インフレ率の目標への収束には長期的な金融引き締めが必要であると中銀は発信。ブラジルレアルの対ドル相場は、2024年末の1ドル＝6.0レアル台という史上最安値圏から上昇し、足元は1ドル＝5.5レアル前後で推移。
 - 株価(ボベスパ指数)は1月以降上昇傾向が続いており、9月には140,000ポイント後半まで上昇。ブラジル経済が減速傾向にありつつも底堅い推移をしていることや、他主要国の株価指数と比して割安であることもあり^(注)、足元でも株価が上昇している。
- (注) 10月21日時点で、日経平均株価と米国S&P500の株価収益率(PER)はそれぞれ24.27、25.72であるのに対し、ボベスパ指数のPERは同時点で9.96と低水準であり、相対的に割安である。

ブラジルレアル(対米ドル)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(ボベスパ指数)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

1. ブラジル (4) 経済・金融概況

ブラジルの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2022	2023	2024	24/7-9	10-12	25/1-3	4-6	25/6	7	8	9
実質GDP成長率(前年比、%)	(3.0)	(3.2)	(3.4)	(4.0)	(3.6)	(2.9)	(2.2)				
経済活動指数○	142.76	146.83	151.98	107.41	107.53	109.04	109.29	108.68	108.11	108.66	—
鉱工業生産(前期比、%)○	(▲0.7)	(0.3)	(2.7)	(1.2)	(▲0.1)	(0.3)	(0.2)	(0.1)	(▲0.1)	(0.8)	—
設備稼働率(%)○	(80.4)	(78.7)	(79.1)	(79.2)	(78.9)	(78.8)	(78.6)	(78.8)	(78.5)	(78.7)	—
小売売上高(前年比、%)	(1.1)	(1.7)	(4.8)	(3.3)	(3.9)	(1.3)	(2.5)	(0.5)	(1.2)	(0.4)	—
自動車国内販売台数(千台)	2,104	2,309	2,635	715	776	552	647	213	243	225	243
失業率(%)	(9.5)	(8.0)	(6.9)	(6.6)	(6.2)	(6.8)	(6.2)	(5.8)	(5.6)	(5.6)	—
消費者物価上昇率(IPCA) (前年比、%)	(9.3)	(4.6)	(4.4)	(4.4)	(4.8)	(5.0)	(5.4)	(5.4)	(5.2)	(5.1)	(5.2)
卸売物価上昇率(前年比、%)	(11.2)	(▲6.1)	(0.5)	(4.1)	(6.7)	(9.1)	(7.1)	(4.0)	(2.0)	(2.1)	(1.9)
輸出(FOB)(億ドル)	3,341	3,397	3,370	887	826	775	893	291	324	300	—
(前年比、%)	(19.0)	(1.7)	(▲0.8)	(▲0.1)	(▲4.9)	(▲1.3)	(▲0.9)	(0.2)	(4.2)	(3.8)	—
輸入(FOB)(億ドル)	2,726	2,408	2,629	734	693	701	709	240	261	245	—
(前年比、%)	(24.2)	(▲11.7)	(9.2)	(15.0)	(12.3)	(12.7)	(2.6)	(2.8)	(8.3)	(▲2.6)	—
貿易収支(億ドル)	515	923	658	152	134	74	184	51	63	55	—
経常収支(億ドル)	▲422	▲279	▲612	▲212	▲220	▲232	▲114	▲57	▲75	▲47	—
直接投資ネット流入(億ドル)	746	624	711	206	125	230	130	33	87	80	—
外貨準備高(億ドル)◎	2,719	3,170	2,827	3,191	2,827	2,918	2,938	2,938	2,994	3,050	3,089
ベースマネー(億リアル)◎	4,197	4,227	4,512	4,299	4,512	4,433	4,510	4,510	4,437	4,389	4,297
政策金利(Seric Target rate)◎	(13.75)	(11.75)	(12.25)	(10.75)	(12.25)	(14.25)	(15.00)	(15.00)	(15.00)	(15.00)	(15.00)
対米ドル為替相場◎	5.217	4.841	6.192	5.448	6.192	5.742	5.457	5.457	5.602	5.426	5.318
株価指数(ボベスパ指数)◎	109,735	134,185	120,283	131,816	120,283	130,260	138,855	138,855	133,071	141,422	146,237

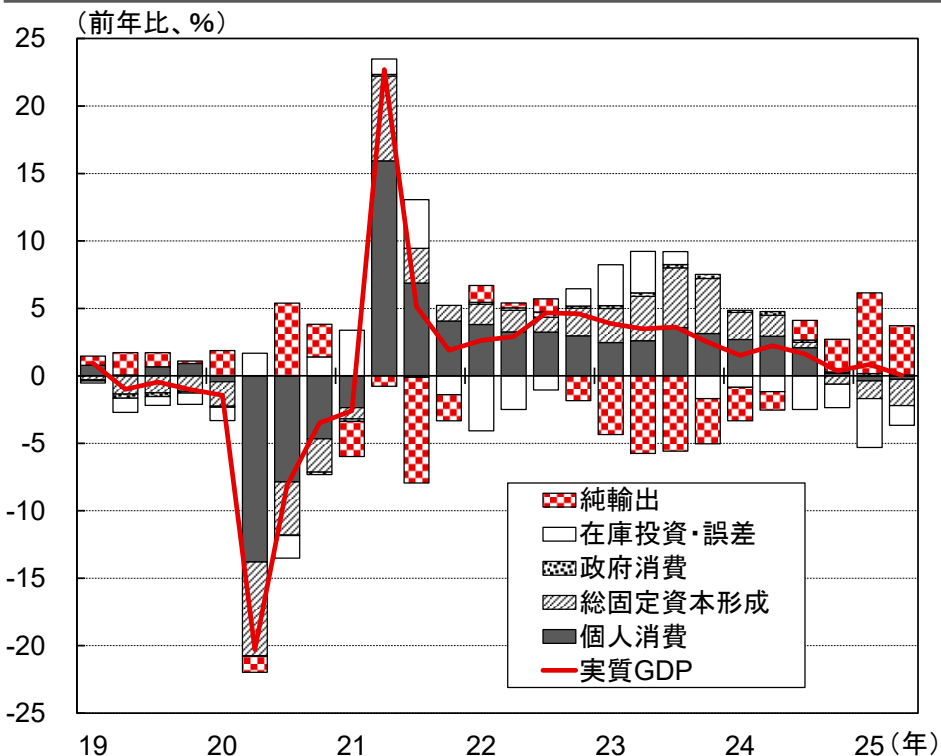
(注)◎印:期末値、○印:季節調整値

(資料)ブラジル中銀、ブラジル地理統計院(IBGE)、世界銀行、サンパウロ証券取引所より国際通貨研究所作成

2. メキシコ (1) 景気概況

- 4-6月期の実質GDP成長率は前年比+0.0%と、前期(同+0.9%)から減速しゼロ成長となった。需要項目別の寄与度では、純輸出(同+3.6%ポイント)のプラス幅が縮小。内需は、個人消費(同▲0.4%ポイント)のマイナスが続いたほか、政府消費(同+0.6%ポイント)は純輸出同様にプラス幅が縮小し、総固定資本形成(同▲7.9%ポイント)はマイナス幅が拡大。
- 8月の失業率は2.6%と引き続き低位で推移。
- 9月の消費者物価上昇率は前年比+3.8%と、メキシコ銀行の定めるインフレ目標(前年比+3%±1%)内で定着しつつある。

実質GDP成長率の推移



(資料) 国立統計地理情報院統計より国際通貨研究所作成

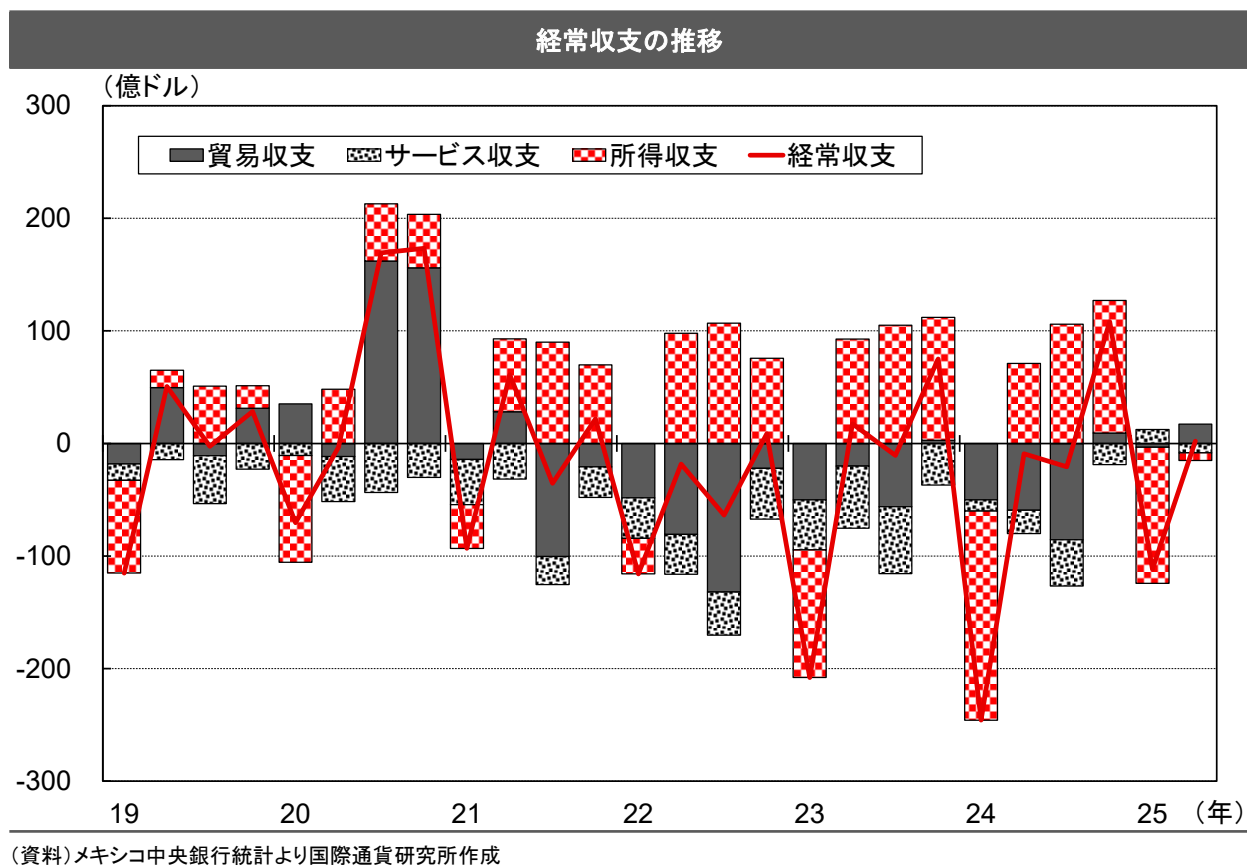
消費者物価上昇率と失業率の推移



(資料) 国立統計地理情報院統計より国際通貨研究所作成

2. メキシコ (2) 経常収支

- 4-6月期の経常収支は+2億ドルと、前年同期の▲9億ドルから小幅ながら黒字に転じた。
- 内訳をみると、所得収支は▲7億ドル(前年同期: +71億ドル)と赤字に転じた一方、貿易収支が+17億ドル(同▲59億ドル)の黒字となり、サービス収支は▲8億ドル(同▲21億ドル)と赤字幅が縮小。



2. メキシコ (3) 金融市場

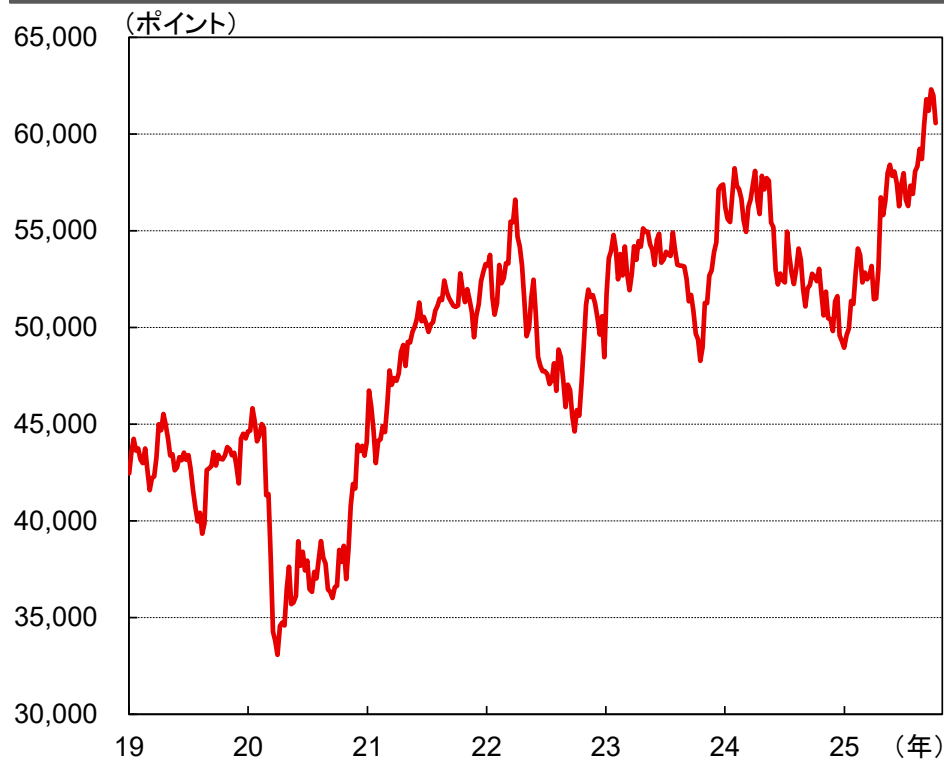
- メキシコペソの対ドル相場は、米国の関税政策のメキシコへの影響が、当初の懸念程大きくない(負担が重くない)という見方を背景に、足元でペソ高方向の動きが継続。
- メキシコ銀行(中銀)は9月の金融政策決定会合において、政策金利を7.5%に引き下げた。先行きについても、インフレ率の安定と経済の低迷、米連邦準備理事会(FRB)の利下げ再開を背景に追加利下げを検討する姿勢を示す。
- 株価(ボルサ指数)は4月以降大きく上昇しており、足元は60,000ポイントを超えて推移。こちらも米国の関税政策による負の影響が想定よりも大きくないと見方が、引き続き株高の要因となっている。

メキシコペソ(対米ドル)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(ボルサ指数)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

2. メキシコ (4) 経済・金融概況

メキシコの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2022	2023	2024	24/7-9	10-12	25/1-3	25/4-6	25/6	7	8	9
実質GDP成長率(前年比、%)	(3.7)	(3.3)	(1.5)	(1.6)	(0.4)	(0.9)	(0.0)				
鉱工業生産(前期比、%)○	(4.8)	(3.4)	(0.1)	(0.7)	(▲1.5)	(▲0.3)	(0.4)	(▲0.3)	(▲1.2)	(▲0.3)	—
自動車生産台数(千台)	3,308	3,779	3,989	1,034	959	968	1,045	361	309	350	356
自動車販売台数(千台)	897	1,361	1,490	369	416	365	344	116	124	124	117
原油産出量(千バレル/日)*	1,784	1,875	1,759	1,764	1,670	1,615	1,631	1,629	1,648	1,645	—
(前年比、%)	(1.6)	(5.1)	(▲6.2)	(▲5.7)	(▲10.0)	(▲11.3)	(▲8.6)	(▲8.6)	(▲7.0)	(▲7.1)	—
原油輸出価格(米ドル/バレル)	88.8	70.9	70.3	69.2	65.0	64.9	61.0	62.7	62.5	62.2	—
失業率(%)○	(3.3)	(2.8)	(2.7)	(2.7)	(2.6)	(2.6)	(2.7)	(2.6)	(2.6)	(2.6)	—
消費者物価上昇率(前年比、%)	(7.9)	(5.5)	(4.7)	(5.0)	(4.5)	(3.7)	(4.2)	(4.3)	(3.5)	(3.6)	(3.8)
輸出(FOB)(億ドル)	5,777	5,930	6,171	1,561	1,619	1,489	1,638	540	567	557	—
(前年比、%)	(16.7)	(2.7)	(4.1)	(4.1)	(7.0)	(3.7)	(4.9)	(10.6)	(4.0)	(7.4)	—
輸入(CIF)(億ドル)	6,046	5,985	6,253	1,646	1,610	1,492	1,621	535	567	577	—
(前年比、%)	(19.6)	(▲1.0)	(4.5)	(5.9)	(6.6)	(0.4)	(0.1)	(4.4)	(1.7)	(▲0.1)	—
経常収支(億ドル)	▲177	▲56	▲60	▲21	108	▲112	2				
資本収支(億ドル)	▲1	▲0	▲1	▲0	▲0	0	▲0				
外貨準備高(億ドル)◎	1,991	2,128	2,290	2,267	2,290	2,373	2,417	2,417	2,421	2,444	2,473
ベースマネー(億ペソ)◎	27,000	29,605	32,934	30,730	32,934	32,512	32,523	32,523	32,883	32,622	32,891
政策金利◎	(10.50)	(11.25)	(10.00)	(10.50)	(10.00)	(9.00)	(8.00)	(8.00)	(8.00)	(7.75)	(7.50)
対米ドル為替相場◎	19.47	16.92	20.79	19.64	20.79	20.44	18.83	18.83	18.80	18.64	18.33
株価指数(ボルサ指数)◎	48,464	57,386	49,513	52,477	49,513	52,484	57,451	57,451	57,398	58,709	62,916

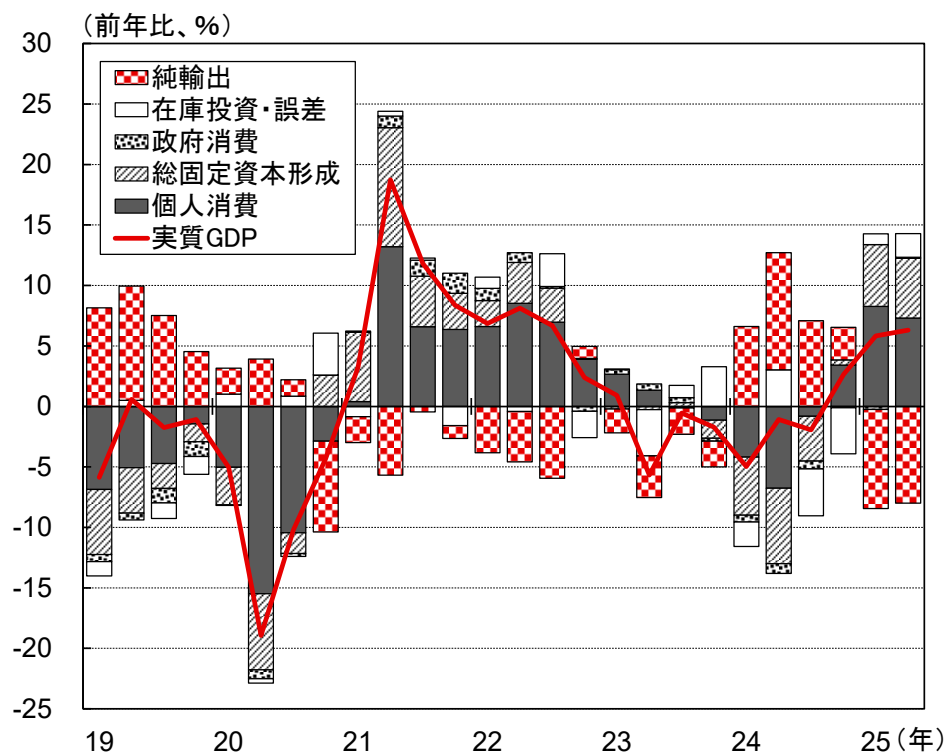
(注)*印:期中平均値、◎印:期末値、○印:季節調整値

(資料)メキシコ中銀、国立統計地理情報院(INEGI)、PEMEXより国際通貨研究所作成

3. アルゼンチン (1) 景気概況

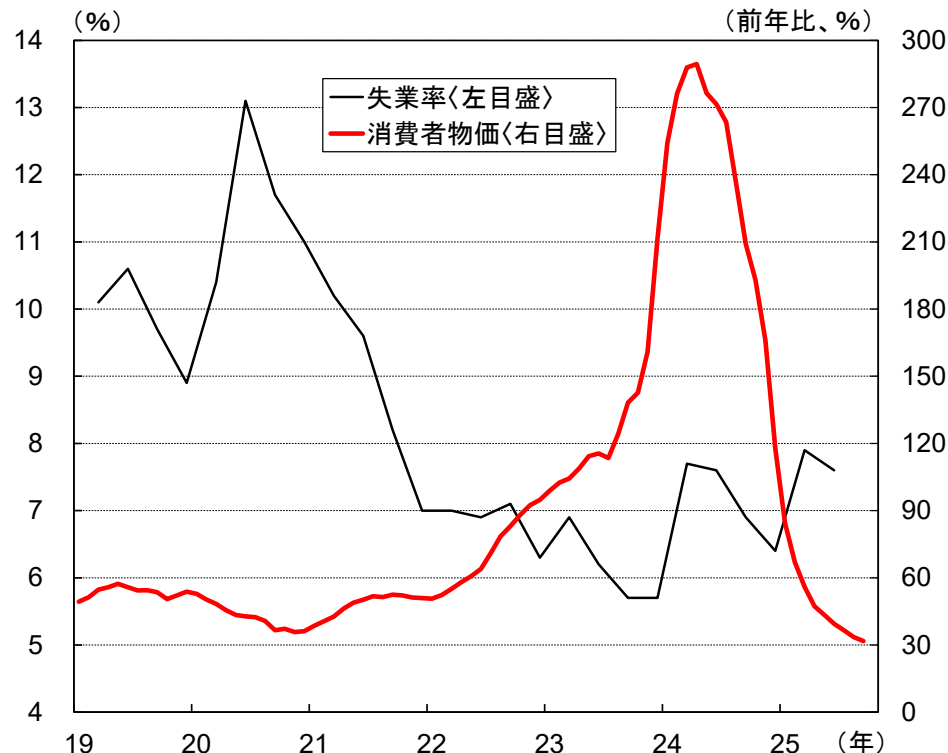
- 4-6月期の実質GDP成長率は前年比+6.3%と、好調だった前期(同+5.8%)並みの成長が持続。需要項目別の寄与度では、個人消費(同+7.3%ポイント)はややプラス寄与が縮小した一方、総固定資本形成(同+4.9%ポイント)、政府消費(同+0.1%ポイント)と純輸出(同▲8.0%ポイント)はほぼ不変であった。
- 4-6月期の失業率(未季節調整値)は7.6%と前年同期と同水準で推移。
- 9月の消費者物価上昇率は、前年比+31.8%と2018年以来の水準まで低下。

実質GDP成長率の推移



(資料) アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

消費者物価上昇率と失業率の推移



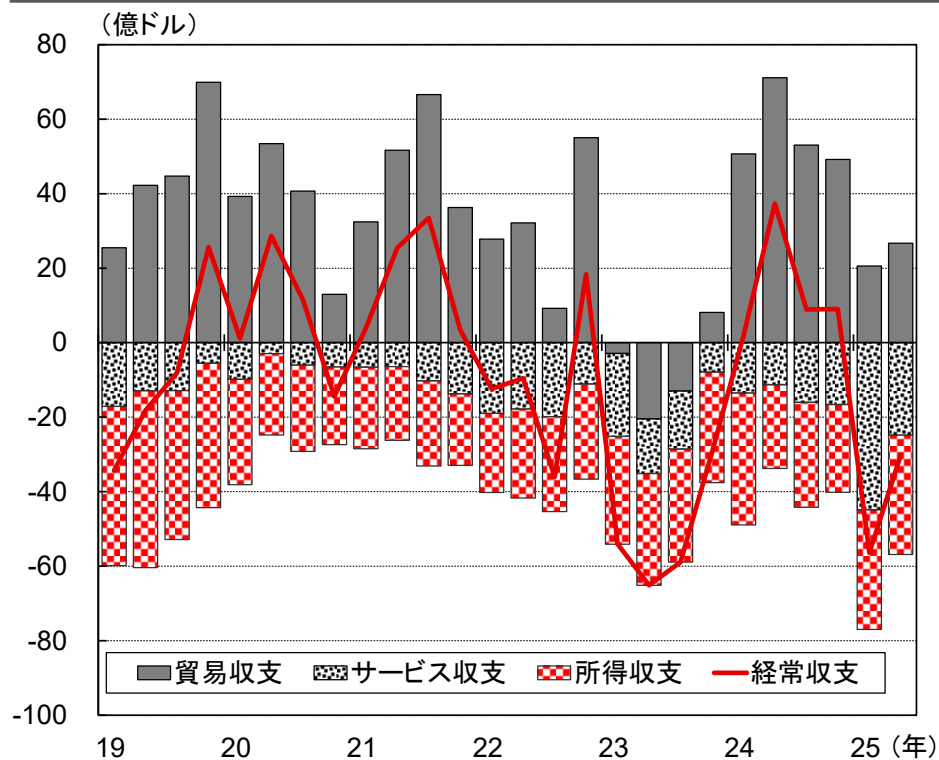
(注) 失業率は未季節調整値。

(資料) アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

3. アルゼンチン (2) 経常収支・外貨準備高

- 4-6月期の経常収支は▲30億ドルと、前年同期の＋37億ドルから赤字に転じた。
- 内訳をみると、貿易収支が＋27億ドル(前年同期:＋71億ドル)と黒字幅が縮小し、サービス収支は▲25億ドル(同▲11億ドル)、所得収支は▲32億ドル(同▲22億ドル)とそれぞれ赤字幅が拡大。
- 9月末の外貨準備高は404億ドルと、4月のIMFからの融資(200億ドル)以降大きな変動はない。

経常収支の推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

外貨準備高の推移

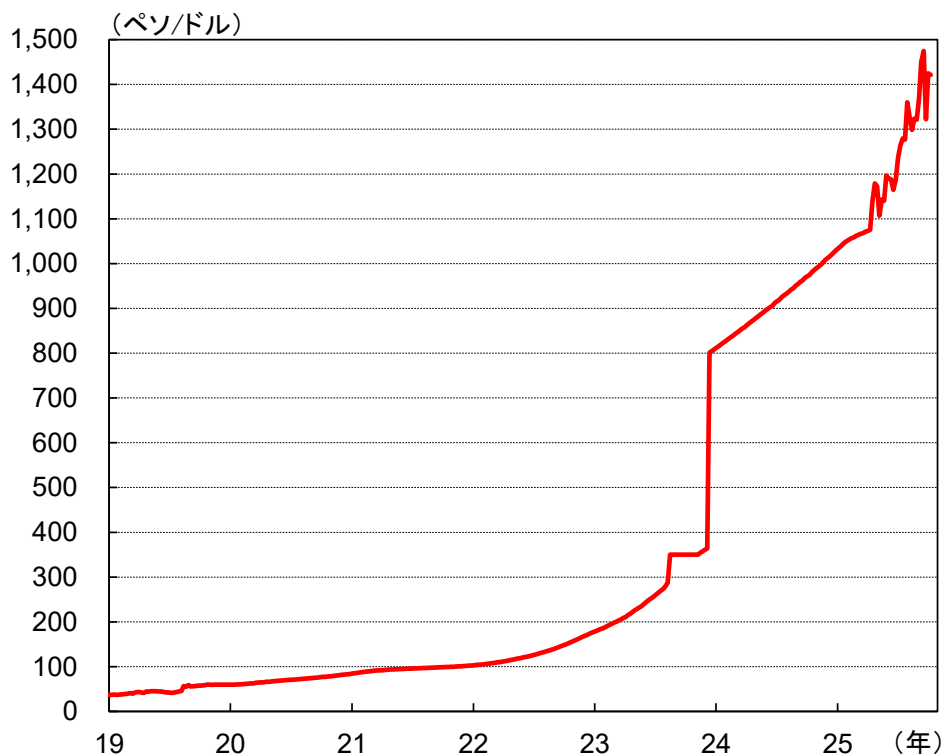


(資料)アルゼンチン中央銀行統計より国際通貨研究所作成

3. アルゼンチン (3) 金融市場

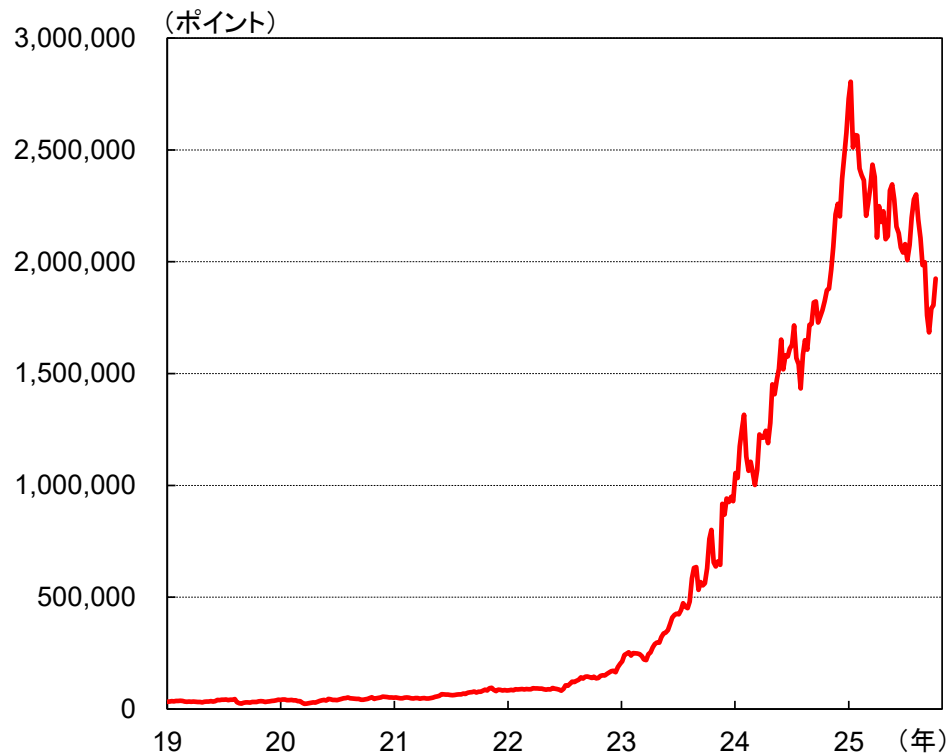
- アルゼンチン中央銀行は、完全な変動相場制への移行を目指して、4月からアルゼンチンペソの為替バンド制を導入。アルゼンチンペソの対ドル相場（公定レート）は、足元1ドル＝1,300ペソから1,500ペソのレンジまで下落しており、アルゼンチンペソ安が引き続き進行。
- 政策金利は1月に設定した29%での据え置きが継続。
- 株価（メルバル指数）は、1月以降下落傾向に転じており、足元は2,000,000ポイントを下回って推移。ミレイ政権内の汚職疑惑などによって政権への信頼が揺らぐ中、アルゼンチンペソ安と株安が同時に進行。

アルゼンチンペソ(対米ドル)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(メルバル指数)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

3. アルゼンチン (4) 経済・金融概況

アルゼンチンの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2022	2023	2024	24/7-9	10-12	25/1-3	25/4-6	25/6	7	8	9
実質GDP成長率(前年比、%)	(5.3)	(▲1.6)	(▲1.7)	(▲1.9)	(2.6)	(5.8)	(6.3)				
鉱工業活動指数(前年比、%)	(4.2)	(▲1.7)	(▲9.1)	(▲6.2)	(1.6)	(6.1)	(8.3)	(9.6)	(▲0.9)	(▲4.4)	—
建設活動指数(前年比、%)	(3.5)	(▲3.1)	(▲27.1)	(▲24.0)	(▲19.7)	(6.0)	(16.5)	(14.1)	(1.6)	(0.4)	—
自動車生産台数(千台)	537	611	507	146	144	114	136	43	37	45	47
自動車販売台数(千台)	376	407	411	116	133	128	171	60	50	52	54
失業率(%)	(6.8)	(6.1)	(7.2)	(6.9)	(6.4)	(7.9)	(7.6)				
消費者信頼感指数	36.9	41.1	39.5	39.9	44.5	46.3	45.0	45.5	46.4	39.9	39.8
消費者物価上昇率(前年比、%)	(72.4)	(134.5)	(208.1)	(234.2)	(154.4)	(68.0)	(43.3)	(39.4)	(36.6)	(33.6)	(31.8)
輸 出(FOB)(億ドル)	884	668	797	209	206	187	211	73	78	79	—
(前年比、%)	(13.5)	(▲24.5)	(19.4)	(17.4)	(31.7)	(7.1)	(1.5)	(10.8)	(8.0)	(16.4)	—
輸 入(CIF)(億ドル)	815	737	608	156	157	166	184	64	69	65	—
(前年比、%)	(29.0)	(▲9.6)	(▲17.5)	(▲18.3)	(5.8)	(34.2)	(34.8)	(36.4)	(19.7)	(32.4)	—
貿易収支(億ドル)	69	▲69	189	53	49	21	27	9	9	14	—
外貨準備高(億ドル) ◎	446	231	296	272	296	250	400	400	389	400	404
ベースマネー(億ペソ) ◎	52,038	96,080	297,286	223,961	297,286	305,342	371,756	371,756	401,134	442,599	422,956
対民間部門貸出量(億ペソ) ◎	90,862	237,481	784,570	590,969	784,570	938,425	1,104,587	1,104,587	1,174,349	1,203,007	—
(前年比、%)	(69.6)	(161.4)	(230.4)	(242.0)	(230.4)	(198.5)	(153.1)	(153.1)	(140.6)	(123.6)	—
経常収支(億ドル)	▲ 41	▲ 210	63	9	9	▲ 56	▲ 30				
対米ドル為替相場 ◎	177.13	808.48	1,032.50	970.92	1,032.50	1,073.88	1,194.08	1,194.08	1,351.83	1,323.83	1,366.58
株価指数(メルバル指数) ◎	202,085	929,704	2,533,635	1,697,401	2,533,635	2,338,761	1,994,825	1,994,825	2,319,510	1,984,845	1,773,440

(注)◎印:期末値

(資料)アルゼンチン中銀、国家統計センサス局、経済省、アルゼンチン大学、OECD、アルゼンチン経済省より国際通貨研究所作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できる
と思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。
内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により
保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室
〒100-8388 東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行本店ビル

照会先： 国際通貨研究所 森川 央 morikawa@iima.or.jp
川畑 昭人 akito_kawabata@iima.or.jp